

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

毎月決算型 運用状況

基本情報

基準価額	3,976円
基準価額（税引前分配金再投資）	13,235円
設定日	1998年4月28日
純資産総額	161.9億円
債券現物銘柄数（マザーファンド）	48

分配金の推移（税引前、1万口当たり）

2022/11	2022/12	2023/1	2023/2
10円	10円	10円	10円
2023/3	2023/4	2023/5	2023/6
10円	10円	10円	10円
2023/7	2023/8	2023/9	2023/10
10円	10円	10円	10円
設定来累計			
8,930円			

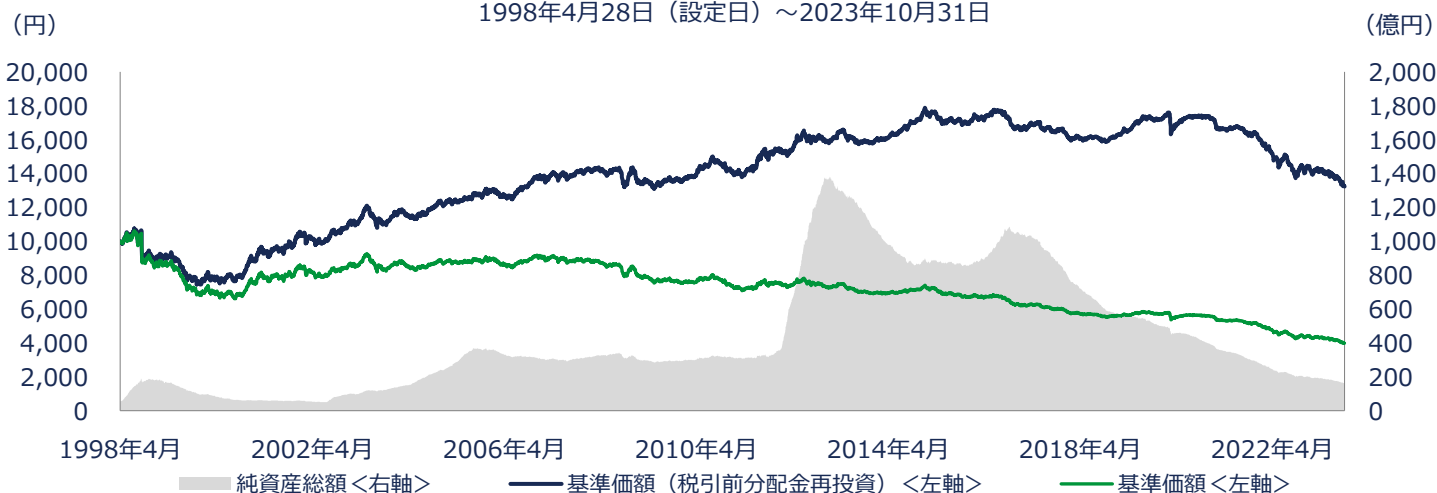
基準価額（税引前分配金再投資）騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.9%	-5.0%	-6.6%	-6.1%	-23.7%	32.3%



設定来の基準価額の推移

1998年4月28日（設定日）～2023年10月31日



基準価額の変動要因分析（円）

基準価額	
2023年9月末日	4,064
2023年10月末日	3,976
月間変動額	
債券要因	-34
為替要因	-38
その他要因	-16
内収益分配金	-10

※基準価額は信託報酬控除後の1万口当たりのものです。

※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を全額再投資したと仮定して算出した信託報酬控除後の値であり、当社が公表している基準価額とは異なります。税引後の運用実績は、課税条件等によってご投資者ごとに異なります。

※運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配を行わない場合があります。※基準価額の変動要因分析は、簡便法により試算した概算値であり、あくまでも、傾向を知るための目安としてご覧ください。いずれも1万口当たり、小数点以下は四捨五入。

また、その他要因には収益分配金や信託報酬などが含まれています。

※過去の運用実績は、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定・運用

ベアリングス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：

関東財務局長（金商）第396号

加入協会：

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

※お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）等をご覧ください。

※後述の「当ファンドにかかるリスク」及び「当資料に関してご留意頂きたい事項」を必ずご覧ください。

ファンドの情報やマーケット情報などが

ご覧いただけます。

<ウェブサイト>

<https://www.barings.com/ja-jp/individual>

ベアリングス・ジャパン株式会社は

そらべあ基金を応援しています。

そらべあ基金は再生可能エネルギーの普及啓発と環境教育を行うNPO法人です。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

1年決算型 運用状況

基本情報

基準価額	8,341円
基準価額（税引前分配金再投資）	8,341円
設定日	2013年10月21日
純資産総額	77.2億円
債券現物銘柄数（マザーファンド）	48

分配金の推移（税引前、1万口当たり）

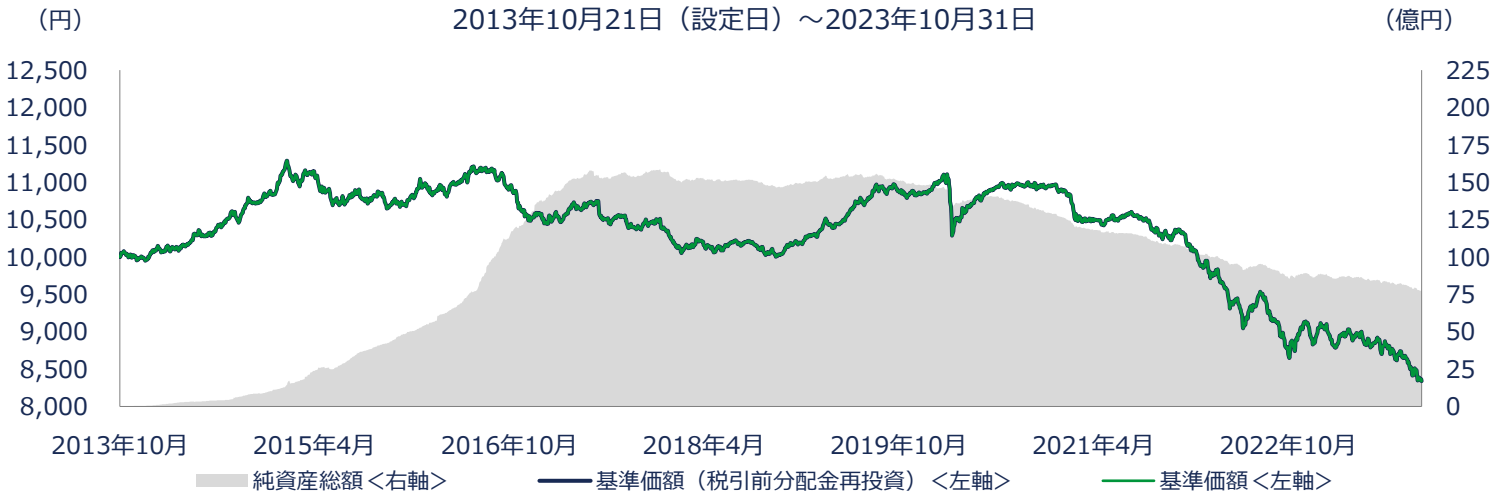
2013年11月 - 2022年11月	各 0円
設定来累計	0円

基準価額（税引前分配金再投資）騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.9%	-5.0%	-6.6%	-6.1%	-23.8%	-16.6%

設定来の基準価額推移

2013年10月21日（設定日）～2023年10月31日



基準価額の変動要因分析（円）

基準価額	
2023年9月末日	8,504
2023年10月末日	8,341
月間変動額	-163
債券要因	-71
為替要因	-80
その他要因	-12
内収益分配金	0

※基準価額は信託報酬控除後の1万口当たりのものです。

※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を全額再投資したと仮定して算出した信託報酬控除後の値であり、当社が公表している基準価額とは異なります。税引後の運用実績は、課税条件等によってご投資者ごとに異なります。

※運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配を行わない場合があります。

※基準価額の変動要因分析は、簡便法により試算した概算値であり、あくまでも、傾向を知るための目安としてご覧ください。いずれも1万口当たり、小数点以下は四捨五入。また、その他要因には収益分配金や信託報酬などが含まれています。

※過去の運用実績は、将来の運用成果等を約束するものではありません。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

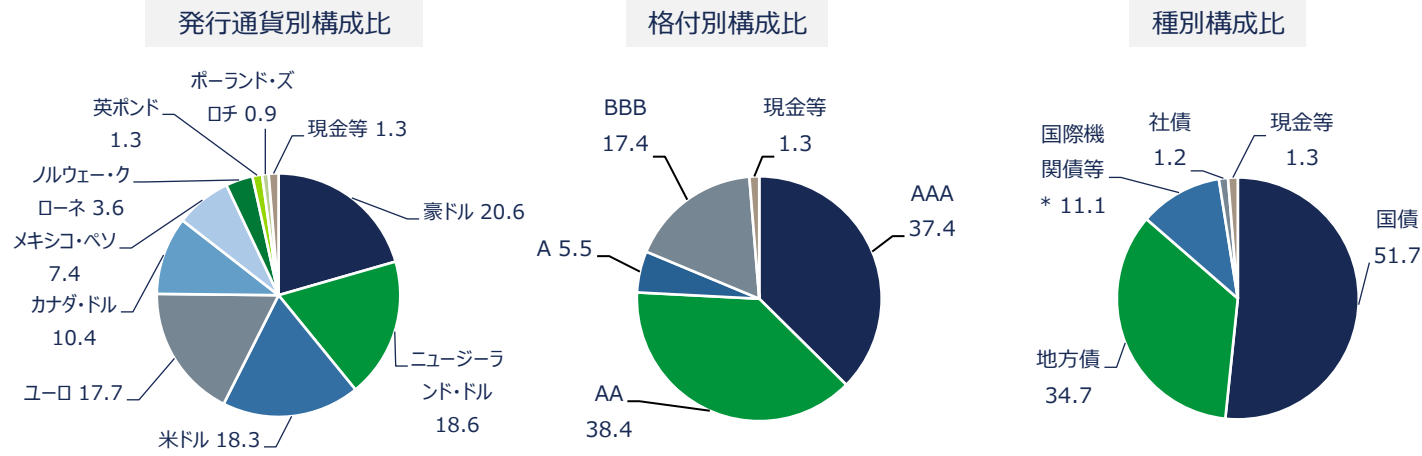
(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

マザーファンド 運用状況

債券現物の状況（％）



*国際機関債等には公社公団債が含まれる場合があります。※比率は全て組入債券現物ベース、対純資産総額。計理処理上、合計が100%を超える場合があります。※現金等には、未収・未払い項目が含まれるためマイナスとなる場合があります。※格付は、原則としてS&P、ムーディーズ、フィッチのうち上位の格付を用いて、S&Pの表示方法で表記しています。

資産構成比率とデュレーション

	資産構成比率 (%)	修正デュレーション (年)
マザーファンド	—	6.1
債券現物	98.7	6.5
債券先物	-4.0	-0.5

ファンドの特性

平均格付	AA
直接利回り (%)	5.6
最終利回り (%)	5.3

＜ご参考＞

最終利回り（為替ヘッジ後、%）	1.0
ロールダウン効果 (%)	0.2
年率期待利回り (%)	1.1

※金利変動リスクの管理のため、債券先物等を組み入れることがあります。この場合、マザーファンドの修正デュレーションは債券先物等を含めて計算しています。※資産構成比率は対純資産総額。※平均格付は、組入債券現物の格付を加重平均したものです。※直接利回りは、投資元本に対する利息の割合を保有債券現物で加重平均した利回りです。※最終利回りは、組入債券現物を償還日まで保有した場合の利回りを加重平均したものです。※ファンドの特性は、現物債券のみの数値で計算されており、現金等は考慮されていません。※最終利回り（為替ヘッジ後）＝最終利回り－為替ヘッジコスト。※ロールダウン効果とは、債券の年限（残存年数）が長いほど利回りが高い場合、時間の経過に伴い、債券の年限（残存年数）が短くなることで利回りが低下し、債券価格が上昇することで得られる効果のことを指し、上記は債券の年限ごとの利回りが今後1年間変化しないとの前提で試算したものです。当該数値は市場動向等により変動するものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。※年率期待利回り＝最終利回り（為替ヘッジ後）＋ロールダウン効果。当該数値は市場動向等により変動するものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。出所：債券先物の修正デュレーションおよびご参考データは公開データ等に基づきベアリングス・ジャパンが計算。

為替管理の状況（％）

対円為替ヘッジ比率	81.6
-----------	------

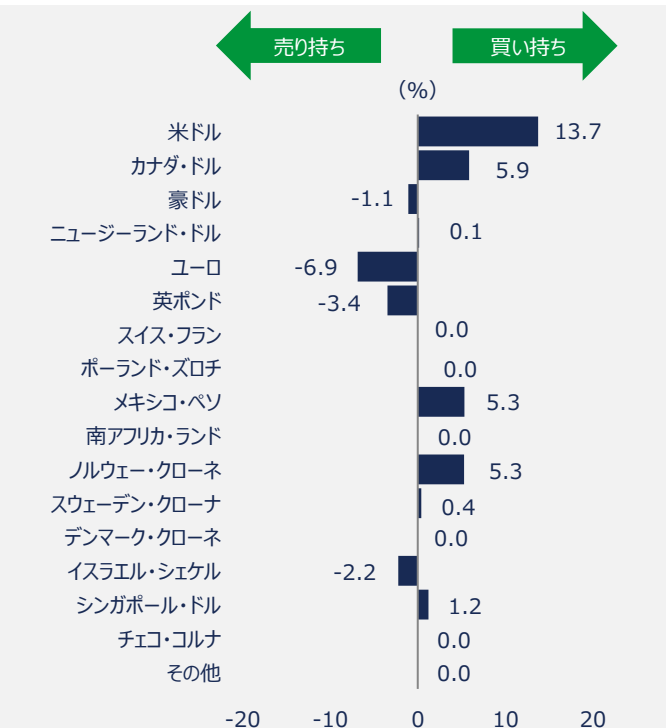
為替ヘッジコスト（％）

為替ヘッジコスト（年率）	4.4
--------------	-----

※為替ヘッジコストは、作成基準日現在の各通貨の3ヶ月ヘッジコストを各通貨のヘッジ比率により加重平均し、年率換算した概算値であり、実際のヘッジコストとは異なります。出所：公開データ等に基づきベアリングス・ジャパンが計算。

為替運用（外貨）の状況（％）

通貨	債券現物等 構成比率*	為替予約	通貨 構成比率 ①+②
米ドル	23.7	-10.0	13.7
カナダ・ドル	10.6	-4.7	5.9
豪ドル	20.1	-21.1	-1.1
ニュージーランド・ドル	14.0	-13.8	0.1
ユーロ	16.6	-23.5	-6.9
英ポンド	2.9	-6.3	-3.4
スイス・フラン	0.0	0.0	0.0
ポーランド・ズロチ	0.9	-0.9	0.0
メキシコ・ペソ	7.7	-2.4	5.3
南アフリカ・ランド	0.0	0.0	0.0
ノルウェー・クローネ	3.6	1.7	5.3
スウェーデン・クローナ	0.1	0.3	0.4
デンマーク・クローネ	0.0	0.0	0.0
イスラエル・シケル	0.0	-2.2	-2.2
シンガポール・ドル	0.5	0.8	1.2
チェコ・コルナ	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
外貨部分の合計	100.7	-82.3	18.4



*債券現物等構成比率には各通貨の現金等が含まれます。※上記データは小数点第2位を四捨五入しているため、合計値がそれぞれの数値を足し合わせたものと一致しない場合があります。※比率は全て対純資産総額。計理処理上、合計が100%を超える場合があります。※買い持ちになっている通貨が売り持ちになっている通貨に対して強くなると基準価額にプラスに寄与し、弱くなるとマイナスに寄与します。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

マザーファンド 運用状況

▼ 市場概況

債券：10月の債券市場は、月前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）高官が相次いで追加利上げに慎重な姿勢を示したものの、米国の8月の非農業部門の求人件数や9月の非農業部門の雇用者数が市場予想を上回る伸びを示し堅調な労働市場が確認されたことなどから、米国の長期金利は上昇しました。月後半も、良好な米国の9月の小売売上高や、足元の金融政策は引き締め過ぎではないとのパウエルFRB議長の発言などを受け、米国の長期金利は引き続き上昇しました。景気後退懸念が熏る欧州では、欧州中央銀行（ECB）高官による利上げ見送りを示唆する発言や、イスラエルの地政学リスクの高まりなどを受け、長期金利は低下しました。オーストラリアでは、豪中銀のブロック総裁の必要に応じて追加利上げをためらわないとの発言や、7-9月期消費者物価指数（CPI）の上振れなどを受け、長期金利は上昇しました。月間で見ると、米国、英国およびオーストラリアの10年国債利回りは上昇した一方、ドイツの10年国債利回りは低下しました。

為替：為替市場では、円は米ドルに対してレンジ内で推移していましたが、月末に日銀がイールドカーブ・コントロール（YCC）の再修正を決めたものの、金融緩和姿勢を当面続けると見られたことから下落しました。ユーロは米ドルに対してレンジ内での推移となり月初と同水準となった一方、円に対しては上昇しました。

▼ 投資行動

債券：当月は、イールドカーブのスティープ化を警戒し超長期ゾーンを売却した米国国債やカナダ州政府債、財政赤字懸念が台頭したイタリア国債などから、軟調な中国経済の影響を受けやすいニュージーランドの国債や地方債、オーストラリア州財務公社債、インフレ指標の減速が大きいノルウェー国債などへ入れ替えました。また地政学リスクの高まったイスラエルについては、市場の落ち着きを見ながらイスラエル国債を徐々に売却し、月末時点での保有はありません。物価連動国債は、実質金利水準が高まり投資魅力度の増したフランスで新規に組み入れたほか、米国およびメキシコで維持しました。債券先物は、米国の短期、中期、長期、カナダの中期、長期、オーストラリアの長期、ドイツの短期で買い戻しを実行しました。

為替管理（対円ヘッジ比率）：ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、海外との大きな金利差などを背景に円の軟調な展開が続くと考え、円ウェイトを引き下げ、82%程度としました。

為替運用（外貨対外貨）：オーストラリア・ドルを買い持ちから売り持ちに転換したほか、ニュージーランド・ドルを買い持ちからほぼ中立へ、ユーロやイスラエル・シェケルの売り持ち幅を拡大、米ドルやノルウェー・クローネ、カナダ・ドルの買い持ち幅を拡大するなど、為替リスクの最適化を図りました。

変動要因：毎月決算型、1年決算型の基準価額（税引前分配金再投資）の騰落率は前月末比マイナスとなりました。主要投資対象国の金利が概ね上昇したため債券要因はマイナスとなりました。また、ノルウェー・クローネやメキシコ・ペソの買い持ちポジションなどがマイナスに寄与し、為替要因はマイナスとなりました。

▼ 今後の見通しと投資方針

債券：米欧の金利は既に景気抑制的な水準に到達し、海外中銀の利上げ局面は終盤に入ったと見られるものの、コロナ禍を経た構造的な変化や財政対応によって国ごとに金融政策の効果の出現経路は異なります。どの水準まで利上げを追加的に実行するのかがより、いつまで高金利を維持するのかが焦点となり、引き締め解除時期を慎重に探っていくものと予想します。これまでの金融および財政政策の実体経済への影響度合いや反応時期などの違いに着目し、投資国の選別による付加価値獲得を図りつつ、国ごとの最適な満期構成を構築します。米欧の実質金利は既に上限に近いとの基本観をベースに金利低下へのリスクテイク拡大の機会を探りつつ、機動的なリスク管理および分散投資を施し、収益獲得を目指します。国別では、各国の長短金利差や金融政策などを睨んだ満期構成戦略を実施し、ドイツや米国、カナダなどでは債券先物を使用し、金利リスクの最適配分を目指します。

為替管理（対円ヘッジ比率）：ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は75%～100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。

為替運用（外貨対外貨）：景気が堅調で、中央銀行が高い政策金利を長期間据え置く考えを鮮明にしている米ドルや、北米市場向けの生産拠点として資本フローの拡大が見込まれるカナダ・ドルやメキシコ・ペソなどの買い持ちポジションを維持し、金利戦略とのバランスを図る方針とします。

※上記は、作成時点における市場環境もしくは運用方針等について記載されたものであり、将来の市場環境の変動等により変更となる場合があります。

組入債券現物上位10銘柄

	銘柄	クーポン（％）	満期	格付	通貨	発行体所在国	組入比率（％）
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	AA+	豪ドル	オーストラリア	7.5
2	ニュージーランド国債	4.25	2034年5月15日	AAA	ニュージーランド・ドル	ニュージーランド	7.0
3	フランス国債	5.75	2032年10月25日	AA	ユーロ	フランス	4.6
4	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	4.75	2035年2月20日	AAA	豪ドル	オーストラリア	4.4
5	イタリア国債	6.5	2027年11月1日	BBB	ユーロ	イタリア	4.4
6	オーストラリア・ビクトリア州財務公社債	4.75	2036年9月15日	AA	豪ドル	オーストラリア	3.9
7	ニュージーランド国債	4.5	2030年5月15日	AAA	ニュージーランド・ドル	ニュージーランド	3.8
8	ハイドロ・ケベック電力債	9.375	2030年4月15日	AA	米ドル	カナダ	3.5
9	イタリア国債	6	2031年5月1日	BBB	ユーロ	イタリア	3.3
10	オーストラリア・ビクトリア州財務公社債	4.25	2032年12月20日	AA	豪ドル	オーストラリア	3.1

※比率は全て対純資産総額。

※格付は、原則としてS&P、ムーディーズ、フィッチのうち上位の格付を用いて、S&Pの表示方法で表記しています。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

ファンドの特色

特色1：信用力が高い世界の公社債に分散投資します

格付けで投資適格を有する上質な債券に投資します

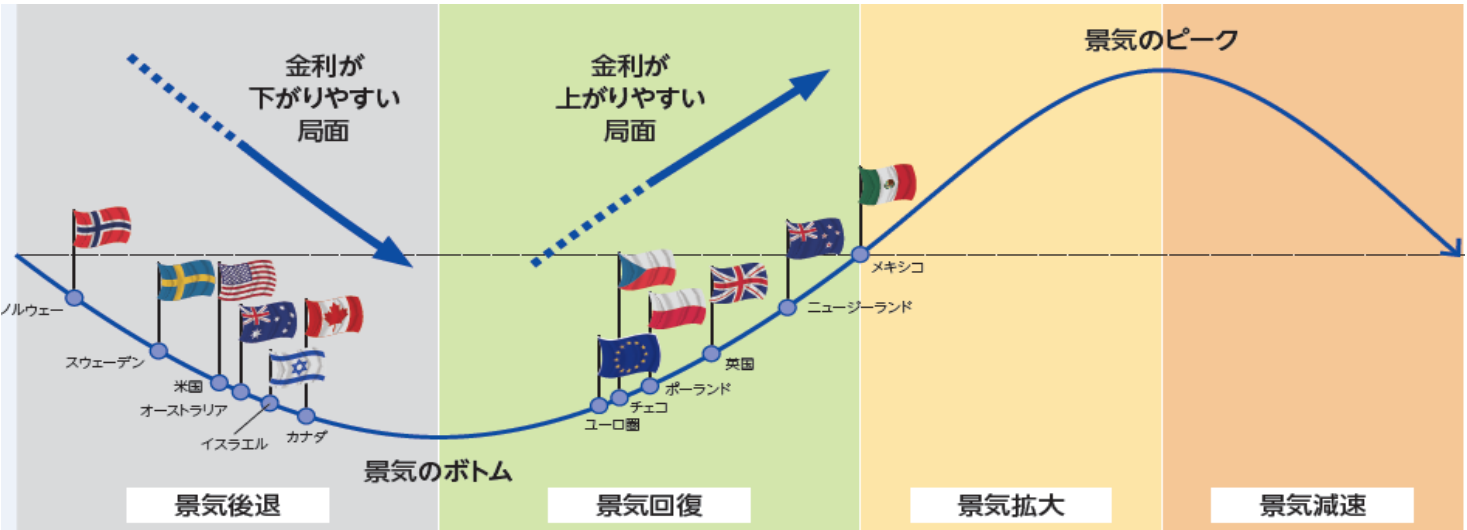


特色2：2つの戦略が『ウィンドミル』の安定した運用を支えています

① 分散された債券戦略

■ 景気局面（季節）が異なる国や地域の中からその時々への投資に適した債券（種別）に分散投資していきます

- ▶ 一般的に景気は季節の移り変わりのように、春（回復） 夏（拡大） 秋（減速） 冬（後退）を繰り返します
- ▶ 異なる景気局面（季節）の国や地域の債券を組み合わせることで、中長期的に安定した収益の確保を狙います



※上記は景気循環の状況をあくまで簡単な例として示すものであり、今後の各国の経済情勢を示唆または保証するものではありません。
出所：Markitの製造業PMI指数などを基にベアリングス作成

■ 運用者が分散投資する際に主としてとっている戦略は以下の通りです



BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

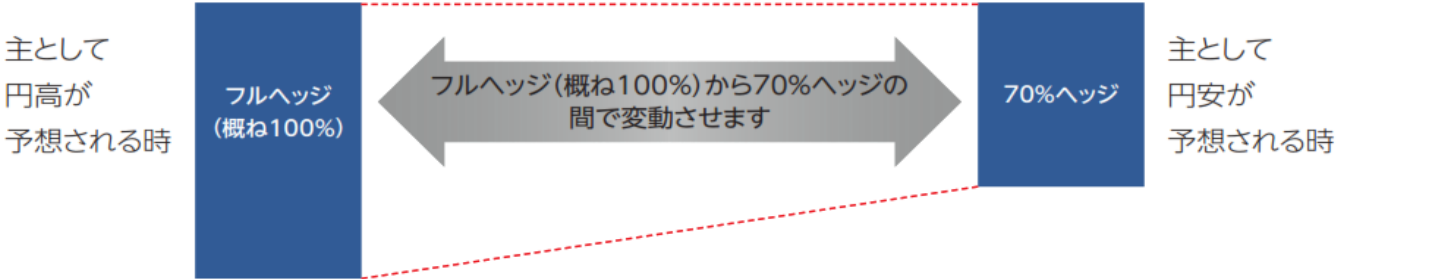
ファンドの特色

特色2：2つの戦略が『ウィンドミル』の安定した運用を支えています（続き）

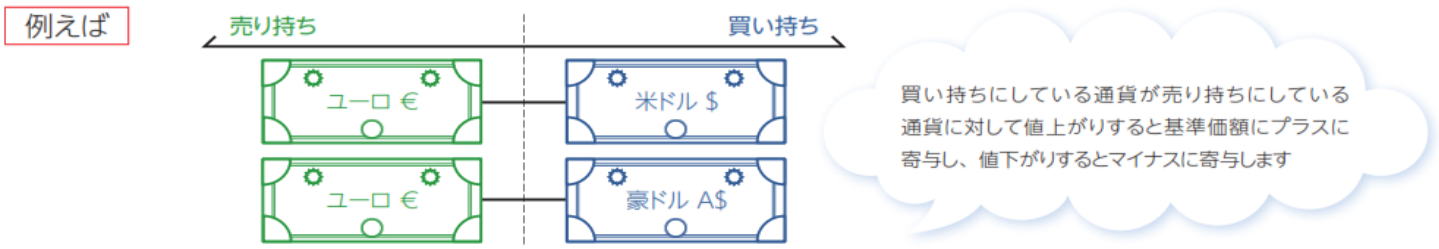
② 機動的な為替戦略

為替予約も使って以下のような戦略をとっています

■ 「外貨」対「円」の為替ヘッジ比率を調整します（「守り」の為替管理）



■ 「外貨」対「外貨」のペア（「買い持ち」対「売り持ち」）を作り、収益を狙うこともあります（「攻め」の為替運用）

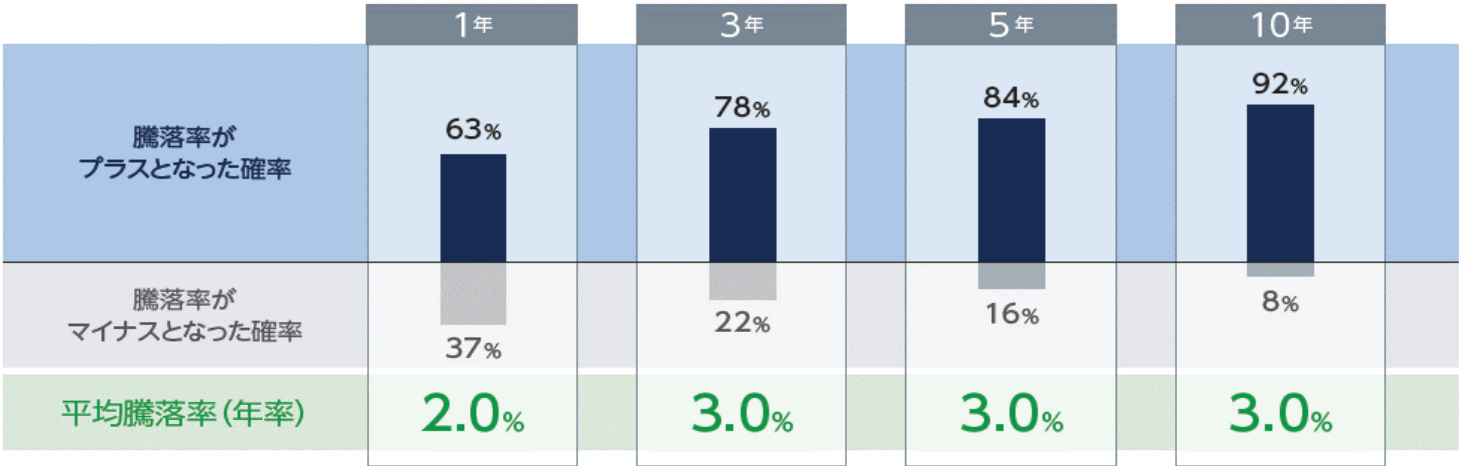


※ 「外貨」対「外貨」のペアは、必ずしも一通貨対一通貨ではなく、一通貨対多通貨となることもあります。

特色3：決め手は時間を味方につけた『長期投資』です

ウィンドミルは、ファンド設定以来、任意の下記期間を計測すると、保有期間が長くなるにつれて、その間の騰落率がプラスとなった確率が高まりました。

ウィンドミル 保有期間別の運用実績（設定日1998年4月28日～2023年6月30日）



※過去の運用実績は、将来の運用成果等を約束するものではありません。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

当ファンドにかかるリスク

当ファンドはマザーファンドを通じて世界の公社債など価格の変動する有価証券等に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります）ので、基準価額は変動します。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**したがって、ご投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。**ご投資者の皆様におかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえお申込みくださいますよう、お願い申し上げます。

当ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。詳細は投資信託説明書（交付目論見書）にてご確認ください。

公社債市場リスク（金利変動リスク）

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により公社債相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因になります。また、ファンドが保有する個々の銘柄の公社債については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

為替変動リスク

外貨建資産に投資を行いますので、外国為替相場の変動の影響を受ける為替変動リスクがあります。為替レートは各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大きく変動することがあります。各国通貨の円に対する為替レートの動きに応じて、当ファンドの基準価額も変動します。

流動性リスク

市場環境が急激に変化した場合や、保有有価証券の発行者等の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、一時的に保有有価証券の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で売却できない、または取引量が限られてしまう場合があります。このような場合には損失を被るリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響を及ぼします。

信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品および各種派生商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品および各種派生商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約資金を手当するために保有有価証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や取引量等の状況によって当ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

ファミリーファンド方式にかかるリスク

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、マザーファンドに投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金移動があり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。

その他のリスク

市況動向等に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準となったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、当ファンドの投資方針に基づく運用ができない場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みおよび一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、ならびにすでに受付けた取得申込みの受け付けを取り消すことがあります。

※当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

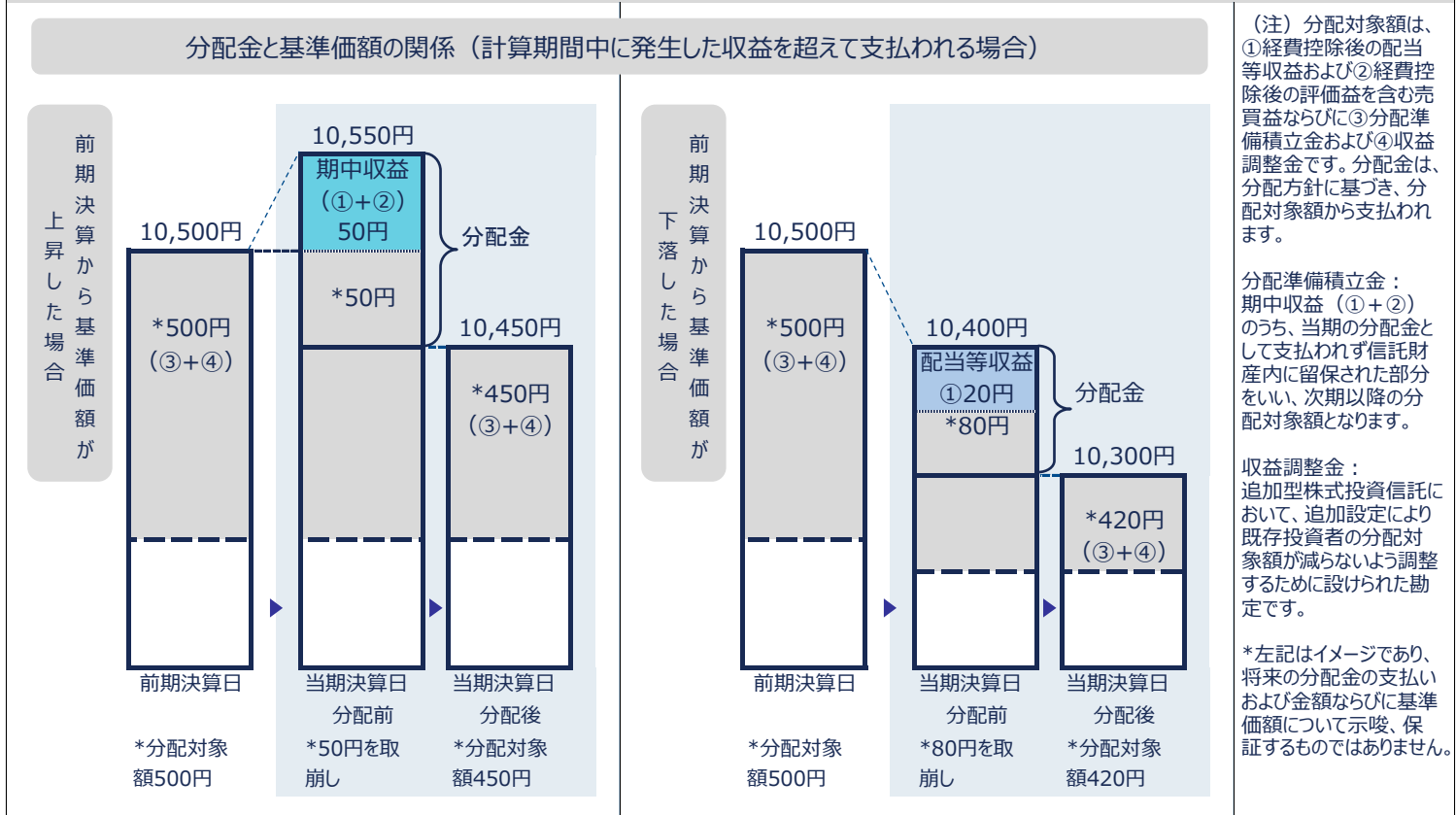
2023年10月31日現在

収益分配金に関する留意事項

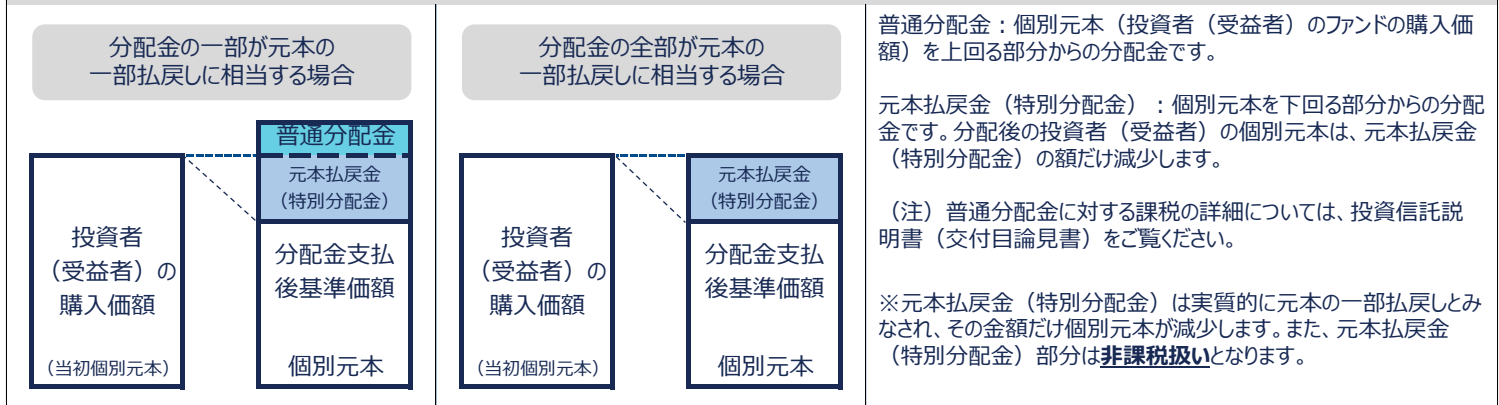
●投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。



●投資者（受益者）のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

当ファンドにかかる手数料等について

ご投資者が直接的に負担する費用

ご購入時手数料	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 2.75%（税抜2.5%） を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	信託財産留保額はありません（マザーファンドにおいても信託財産留保額はありません）。

ご投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	当ファンドの日々の純資産総額に対し 年1.595%（税抜1.45%） の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※手数料等諸費用の合計額については、お申込金額およびご投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込メモ

設定日	ウィンドミル：1998年4月28日 ウィンドミル1年：2013年10月21日
信託期間	ウィンドミル：無期限。ただし受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、償還させることがあります。 ウィンドミル1年：2028年11月10日まで。ただし、受益権の口数が20億口を下回ることとなった場合等には、繰上償還させることがあります。また、投資者に有利であると認めたときには、信託期間を延長することができます。
決算日	ウィンドミル：毎月10日（休業日の場合は翌営業日）。 ウィンドミル1年：毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）。
お申込日	毎営業日にお申込みできます。ただし、ロンドン（英国）の銀行休業日にはお申込みを受け付けません。 なお、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
ご購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご購入価額	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
ご購入代金	販売会社が指定する期日までに申し込みの販売会社にお支払いください。
収益分配	ウィンドミル：月1回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。 ウィンドミル1年：年1回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
ご換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金価額	ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
ご換金代金	原則としてご換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※当ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。 2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※課税の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。 ※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。 ※上記は2023年5月末日現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	ベアリングス・ジャパン株式会社 信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）および運用報告書の作成等の業務を行います。 お問い合わせ先電話番号：03-4565-1040（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで） ホームページ：https://www.baring.com/ja-jp/individual ※マザーファンドの運用の管理および執行をベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）へ委託します。
受託会社	株式会社りそな銀行 信託財産の保管・管理等の業務を行います。
販売会社	受益権の募集の取扱い、一部解約の実行請求の受付け、収益分配金の再投資、収益分配金・償還金・一部解約金の支払い等の業務を行います。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド
(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年
追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

販売会社一覧

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）等のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

販売会社名	登録番号	取扱い商品		加入協会			
		ウィンドミル	ウィンドミル1年	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アーケ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1号	○	○			
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○		○
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第1号	○	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第370号	○	○			
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第24号	○	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		○	
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○	○			○
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第52号	○	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○	○			
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○	○
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号	○	○			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第11号	○	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○	○		○	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○	○			○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○	○		○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○	○			
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第5号	○	○		○	
松阪証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第19号	○	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第11号	○	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○	○			
株式会社きらやか銀行 ※	登録金融機関	東北財務局長（登金）第15号	○	○			
十六TT証券株式会社 ※	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○	○			
浜銀TT証券株式会社 ※	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○	○			
株式会社北海道銀行 ※	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○	○		○	
株式会社山形銀行 ※	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○	○			

※新規のお取扱いを休止しております

上記の表は、ヘアリングス・ジャパン株式会社が作成基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から、細心の注意を払い作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド

(毎月決算型) (愛称)ウィンドミル / (1年決算型) (愛称)ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

2023年10月31日現在

ベアリングス・ジャパンのYouTubeチャンネルにて動画がご覧いただけます

YouTubeチャンネルはこちら



当資料に関してご留意頂きたい事項

当資料は、ベアリングス・ジャパン株式会社(金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第396号、一般社団法人投資信託協会会員、一般社団法人日本投資顧問業協会会員）（以下、「当社」）が作成した販売用資料で、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、当社が信頼できる情報源から得た情報等に基づき作成していますが、内容の正確性あるいは完全性を保証するものではありません。当資料に掲載した運用状況に関するグラフ、数値その他の情報は作成時点のものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。当資料に含まれる個別銘柄は、その売買を推奨するものではありません。投資信託は株式・公社債等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には、為替変動リスクもあります）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。運用によりファンドに生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）等を、あらかじめ、または同時にお渡し致しますので、必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。